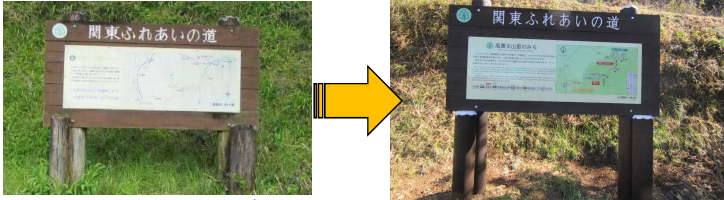



目標の達成状況等の評価（自然環境整備計画（国定公園等整備事業））

都道府県名	栃木県		対象地域名	首都圏自然歩道（歴史のまちを望むみち外）		評価年度	令和 3 年度		
事業実施期間	平成 29 年度～令和 2 年度		事業費	108,994 千円		（うち国費 49,047 千円）			
事業の実施内容	<p>○首都圏自然歩道整備事業</p> <p><施工例></p> <p>標識改修（風薫る山里のみち）</p>  <p>階段改修（かかしの里・ブドウのみち）</p>  <p>(1) 山なみのみち・・・標識7基 (2) 歴史のまちを望むみち・・・標識17基、階段38m、防護柵13m (3) マンサクの花咲くみち・・・標識15基 (4) かかしの里・ブドウのみち(市)・・・公衆トイレ(洋式化) (5) かかしの里・ブドウのみち・・・標識11基、階段14基 (6) 桜咲くパノラマのみち・・・標識22基、ベンチ3基 (7) 麦笛のみち・・・標識17基 (8) 風土記のみち・・・標識42基、ベンチ4基 (9) ゆうがおのみち・・・標識22基、ベンチ2基 (10) アンソよく水辺のみち・・・標識19基 (11) 名利と旧跡を訪ねるみち・・・標識12基 (12) 雲流れる桜花のみち・・・標識11基 (13) 焼き物としいの木のみち・・・標識8基 (14) 風薫る山里のみち・・・標識13基 (15) 鯉と山あいのみち・・・標識5基 (16) 稜線をたどるみち・・・標識24基、防護柵35.5m (17) 桜咲くパノラマのみち(市)・・・階段手摺239.2m</p> <p>※（市）表記は市が事業実施主体であるもの</p>								
目標の達成状況	整備計画策定時に設定した目標に対する事業の効果の発現状況	<p>○整備計画策定時に設定した目標</p> <p>(1) 利用者の多い区間においては、近年の利用者のニーズに合わせ、より安全で快適に利用できる施設整備を図る。</p> <p>(2) 老朽化した標識を再整備する。</p> <p>○事業の効果の発現状況</p> <p>(1) 利用者の多い区間において、公衆トイレ等の付帯施設の改修を実施したことにより、歩道の利便性及び快適性が向上した。</p> <p>(2) 老朽化した標識の改修を実施したことにより、歩道利用者の道迷いの防止に貢献した。また、改修に伴い多言語化を実施したため、今後は歩道利用者層の拡大が期待される。</p>							
	目標を定量化する指標の達成状況	当初の指標	指標	単位	定義	従前値 基準年度	目標値 目標年度	達成値 達成年度	達成値の評価
	その他の指標								
整備に伴う取り組みの実施状況	<p>・交付金を活用した県補助事業（首都圏自然歩道整備事業費補助金）により、市町による施設整備の促進が図られた。</p> <p>・引き続き市町と県が連携しながら、各路線の適切な管理に努める。</p>								
今後の取り組み	<p>・次期計画においては、既存施設の状態に加え、地域の観光施策を踏まえて事業箇所を選定し、歩道利用者数の増加を目指す。</p> <p>・施設整備に当たっては、標識の多言語化や公衆トイレの洋式化など、歩道利用者層の拡大に向けた取組を併せて実施する。</p>								